

## 普及活動情勢報告（令和7年1月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

### 自分の経営状況を確認！ ～専門家と連携した経営指導を実施～



生産者のキャッシュフロー作成を支援する普及指導員

12月16日、須崎総合庁舎会議室でミョウガ生産者1戸を対象に、高知県農業経営・就農支援センターと連携して、経営指導を行いました。農業改良普及課は、キャッシュフローの作成と営農計画の作成を支援しました。

生産者からは「経営を安定させるための必要な面積が分かった」、「制度資金等の活用も考えて規模拡大したい」など経営発展に向けた前向きな話がありました。

農業改良普及課は今後も、生産者の営農計画実践を指導します。

### 女性農業者の活躍を目指して ～第3回地域講座を開催～



普及指導員の進行で地域講座を開催

12月17日、JA土佐くろしお営農経済センターで、第3回地域講座を開催し、女性農業者12人が参加しました。

農業改良普及課の進行で、まず女性農業者から要望のあったふるさと納税の制度や手続き等について説明後、家族経営協定や若年農業者アンケート結果及び農業就労環境整備事業について紹介しました。

参加者からは、「ふるさと納税額を決めるときは、農業収入と農外収入の合算とするのか」、「農業就労環境整備事業でアシストスーツを申請した事例はあるか」等の質問がありました。

農業改良普及課は4回目として、働きやすい環境づくりや交流を目的とした講座を計画します。

### ハウス内環境データを振り返りましょう ～キュウリ部会現地検討会～



環境データについて説明をする普及指導員

12月18、19日、須崎市と中土佐町で、JA土佐くろしお園芸部キュウリ部会が現地検討会を開催し、生産者10人が参加しました。

農業改良普及課から、ほ場の環境測定データを基に定植後からのハウス内温度、炭酸ガス濃度の日毎の推移を説明しました。園主から温度管理方法について、「今年は特に夜温が高い持期の管理が難しかった」と説明がありました。

参加した生産者は、夜温管理の難しさを共有しました。

農業改良普及課は、今後もハウス内環境データを見える化し、キュウリの収量・品質向上に向けた支援を行っていきます。

## 令和6年度作を振り返りましょう！ ～津野山なす部会出荷反省会～



真剣に話を聞く生産者ら

12月24日、JA高知県津野山なす部会が令和6年度出荷反省会を開催し、生産者14人が参加しました。

農業改良普及課は、気象データや出荷データを用いて作全体を振り返り、今年度の実証試験の結果を報告し、IoPクラウドSAWACHIの気象データ機能について説明しました。

生産者からは「害虫対策として天敵の導入を再検討する必要があるのか」「青枯病対策として、台木を変更しても生育に差が出ないか」といった質問が出て、次作に向けた活発な意見交換ができました。

農業改良普及課は今後、次作に向けた巡回指導等を行います。

## 栽培管理に環境データを活用しよう ～キュウリ生産者の巡回指導～



「お返しシート」を説明をする普及指導員

1月14日、須崎市と中土佐町のキュウリ生産者2戸を、JA営農指導員2人、農業改良普及課2人で巡回指導しました。

農業改良普及課は、ハウス内環境データの推移、生育調査の結果を「お返しシート」としてまとめ、生産者に説明しました。

生産者からは、「ハウス内温度が設定通りに推移していることを確認できた」「品種ごとの生育の違いを知ることができた」といった声を聞くことができました。

農業改良普及課は今後も、ハウス内環境データと生育データを解析し、キュウリの収量・品質向上を目指した支援を行います。